

それに、本宮町との水あらそいもなくなりました。

三ツ森ため池は、七瀬川の上流（郡山市熱海町へ）を長さ二〇五メートル、高さ二十五メートルのえんていで七十二万一千立方の水をためることができます。

この水は、新しくつくられた三千四百メートル余の導水路を通つて、長井坂分水そうちに流れ、安達太良川と百日川に流れるようにつくられ、大玉村および、本宮町の一部に、かんがいできるようになりました。また、となりの郡山市熱海町の、かんがい用水にも、問題がないように、話し合いできまっています。

三ツ森ため池の工事 初めは四十八万円（今のお金でお

よそ 二十億円）の予算で、その大部分は、国、県からのほじょ金で行われましたが、物のねだんが高く予算のえんじょがおくれ、一九三一年（昭和六年）に工事をすすめるのがおくれ、よく年から工事がはじめられ、



（三ツ森ため池の取入口のようす）